

# 算数科

単元名 「いくつといくつ」  
指導時数 6 時間扱い

ねらい

- ・ 10 までの数の構成を理解し、数を多面的にとらえる。


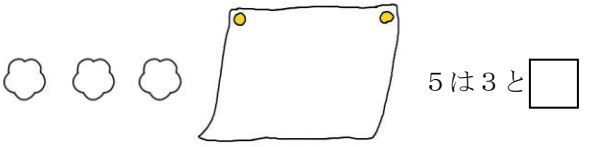
幼稚園・保育所で経験してきたこと

- ・ 日常の生活や遊びの中で、決まった数のものを分けたり、合わせたりする活動を経験している。

接続を踏まえた指導の工夫

- ・ おはじきなどの半具体物を操作しながら、2つの数のまとまりで1つの数をつくったり1つの数をいろいろな2つの数の組み合わせに分けたりする場を設けながら、5から10までの数について、いくつといくつについて理解させていく。また、ゲーム的な要素を入れながら、繰り返し練習ができるようにしていくようにする。

## 学習活動例

時間	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連★幼児教育との関連
1/6	<p>1 2色のおはじきが3個ずつ入った袋からおはじきを5つ取り出し、色の組み合わせをワークシートに色と数字をを書いていく。</p>  <p>2 5を構成する2つの数の組み合わせを発表させ、板書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤 1 青 4</li> <li>・ 赤 2 青 3</li> <li>・ 赤 3 青 2</li> <li>・ 赤 4 青 1</li> </ul> <p>気付いたことを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤が多くなると青が少なくなる。</li> <li>・ 青が1多くなると赤が1少なくなる。</li> <li>・ 2と3、3と2、1と4、4と1のように数字が反対になっている。</li> </ul> <p>3 5の数の分解について理解を深める</p> <p>黒板に提示された5つのブロックのうちの布で隠された部分がいくつかを当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5個は赤1個と青4個に分けられる → 5は1と4</li> <li>・ 5個は赤2個と青3個に分けられる → 5は2と3</li> </ul> <p>5個のおはじきは赤色何個と青色何個に分けられましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5は4と <input type="text"/> ・ 5は2と <input type="text"/></li> </ul>	<p>算数 【5月中旬】</p> <p>★おはじきとりというゲームを楽しみながら、無理なく「いくつといくつ」の学習に関心をもてるようにする。また、おはじきという半具体物を操作しながら、5の構成について理解させていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1つの袋に赤青4個ずつのおはじきを、2人1組で使えるように用意する。</li> <li>○ おはじきをとった結果を記入できるワークシートを用意する。ワークシートには色鉛筆でぬっていくようにさせる。</li> </ul> <p>記入例</p>  <p>あか2こ、あお3こ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゲームのルールは一組の児童をモデルにして実際にやらせながら、説明すると分かりやすい。一人5回ずつ、1回交代でおはじきとりをする。</li> <li>○ おはじきの4通りの組み合わせを板書する。(画用紙などに書き、後のゲームでは隠せるようにしておく。)</li> <li>○ おはじきを片付けさせ、黒板のおはじきを見ながら答えさせていく。</li> <li>○ 数が順序よく減っていることや逆さの組み合わせがあることに気付かせる。</li> </ul> <p>○ 半具体物から、数の抽象化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 布と5つのブロックを用意し、一部を隠し、見えない部分の数を当てさせる。繰り返し練習する。</li> </ul>  <p>5は3と <input type="text"/></p> <p>★ゲーム的な要素を取り入れ、当てっこゲームをすることで、楽しく練習をさせていく。</p> <p>○ 半具体物から、数の抽象化を図る。</p>

時間	学 習 活 動	○配慮事項 ☆他教科等との関連★幼児教育との関連
	<p>4 5の合成について理解を深める。</p> <div data-bbox="231 248 788 347" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・赤色何個と青色何個のおはじきで5このおはじきになりましたか。</p> </div> <p>・赤2個と青3個で、5個→2と3で5 ・赤4個と青1個で、5個→4と1で5</p> <div data-bbox="231 481 788 580" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ごまだんご」の遊び歌を歌いながら、掛け合いで数を言い当てていく。</p> </div> <p>♪ごまだんご ごまだんご 3と2で ごまだんご♪</p> <div data-bbox="300 929 1442 1653"> </div>	<p>○5の合成の言い方に変えても、5の構成が理解できるようにする。 ○とまどっている児童には、実際におはじきを動かしながらとらえさせる。 ○個数としての数を抽象化して、2個を「2」、3個を「3」、5個を「5」と置き換え、数の抽象を図る。</p> <p>★手遊び歌を取り入れ、楽しく練習をさせていく。 ♪ごまだんご →だんごをこねる動作 だんごの「ご」のところで5本指をパーにして出す。 ♪3と→と言いながら教師が3本指を出す。最初はゆっくり、折れている指を数えて2と答えてもよい。児童は指を2本出しながら、♪2でごまだんごと答える。(慣れたら指だけ、声ぬきで答えてもよい) だんだん速く、そのうち指を見せずに答えさせる。)</p> <p>○学校公開や保護者会、お便り等で「ごまだんご」や「ごまんじゅう」の遊び方を知らせ、家庭でも繰り返し練習をすると、5や10の構成を確実に身に付けることができる。 (4／6時後の10の合成分解では、「ごまだんご」「ごまんじゅう」に替え、「じゅう」のところでは、指を10本出して行う。)</p>